

令和5年第10回教育委員会議事録

開催日時	令和5年10月25日(水)
	午前9時30分～午前10時50分
場所	楽習館多目的ホール
出席者	教育長 井上 正人
	教育長職務代理者 加藤 正道
	委員 木下 史江
	委員 高橋 洋一
	委員 田口 理恵
事務局出席者	教育総務部長 千葉 靖志
	学校教育部長 猪原 誠一
	教育総務部副部長 井上 隆雄
	学校教育部副部長 高橋 大祐
	教育総務課長 柳町 貴栄
	社会教育課長 小林 勝巳
	文化財保護課長 高山 治
	学務課長 山内 修
	指導課長兼小中一貫教育推進室長
	和田 進
	学校ICT推進課長 松本 啓介
	教育総務課庶務係長 武内 由紀

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和5年第9回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

【議案第40号については教育長が当事者となるため、教育長は退席する】

議案第40号 [説明者 柳町教育総務課長]

議会提出議案に係る意見聴取について

市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について、教育委員会の意見を求める。

令和5年10月25日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、八潮市長から「市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例」に対する意見を求められたので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長職務代理者が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

【教育長が入室する】

議案第41号

[説明者 柳町教育総務課長]

令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・
評価の報告（令和4年度対象）について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）
第26条の規定により令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点
検・評価（令和4年度対象）を行い、その結果に関する報告書を作成したため、
議決を求める。

令和5年10月25日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提 案 理 由 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況につ
いて、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に
提出するとともに、公表したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○木下委員

3名の委員に対して事業の説明を行う中で、委員の方々が特に気にされてい
た点などがありましたら教えてください。

●柳町教育総務課長

事業の説明を各課で行わせていただき、様々な視点からご質問等をいただい
たところでございます。具体的な内容につきまして教育総務課で申し上げます
と、小学校大規模改修事業の点検・評価を行いました。改修の必要性や今後の
他の学校施設の方向性などについてご質問をいただきました。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第42号

[説明者 山内学務課長]

八潮市就学指定校変更・区域外就学基準について

八潮市就学指定校変更・区域外就学基準を別紙のとおり改正したいので、議決を求める。

令和5年10月25日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 八潮市小規模特認校制度に八潮市立八條中学校を追加したことに伴い、規定の整備をしたいので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○加藤教育長職務代理者

通学方法について、八條北小学校は保護者の送迎でしたが、八條中学校は自転車通学になるのでしょうか。

●山内学務課長

中学生なので基本的には自転車通学を想定しておりますが、様々な事情もあると思いますので個別に相談を受けながら対応していきたいと考えております。

○木下委員

指定校変更の相談内容や件数はどのくらいあるのでしょうか。

●山内学務課長

相談内容につきましては、学校生活での悩みなどから指定校変更を希望するケースや、転居・転出した後もこれまで通りの学校に通学したいという相談が多くございます。

件数につきましては、手元に資料がないため正確な件数は回答できませんが、数十名の指定校変更の相談がございました。いずれも基準と照らし合わせながら適宜判断している状況でございます。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●千葉教育総務部長

(1) 令和5年9月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について
教育委員会への投書は4件ございました。各課からご報告申し上げます。

●柳町教育総務課長

教育総務課への投書は1件、内容は「長期休暇中は、小中学校の体育館や教室を広く児童へ無料解放してほしい」というものでした。この投書に対しては「現状では学校施設開放事業として貸出しをしていることを説明した上で、長期休暇中の開放については防犯面等からも様々な課題があり、現状では難しい状況でございます」と回答いたしました。

●小林社会教育課長

社会教育課への投書は1件、内容は「りらーと八條も、りらーと八幡のようにリフォームしてほしい。改善されれば、利用者も増えると思う」というもので、回答を要さないものでした。りらーと八條につきましても、将来的には大規模改修工事の周期が来るため、りらーと八幡の大規模改修工事の時と同様に、その時が来ましたら、市民の皆様から親しまれ、利便性の向上につながる施設となるよう、対応してまいりたいと考えております。

●山内学務課長

学務課への投書は1件、内容は「学校の配膳室は虫を室内に入れないようにシャッターを閉めており、ここ数年の異常な暑さで体調を崩すなど、仕事に支障が出ているため、配膳室にエアコンを設置してほしい」というものでした。

この投書をいただきましたのは、実際に学校の配膳室で業務を行っている方からでございまして、この方がいらっしゃる学校は、スポットクーラーを設置しておりますが、猛暑となりますと、それでもかなり室温が高いといった状況にございます。

回答といたしましては、「配膳室の空調設備について早期の予算計上を目指します」とさせていただきます。予算計上できましたら、速やかに空調設備等の設置を行いたいと考えております。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

指導課への投書は1件、内容は「小学校のハンドボール大会がなくなり競技人口が減ってしまっていると思う。ハンドボール大会を復活させてほしい」というものでした。この投書に対しては、「猛暑が続いていることや、コロナウイルス感染症の影響から中止を続けているところであり、現在のところ復活する予定はございません」と回答させていただきました。

●猪原学校教育部長

(1) 市内小中学校の様子について

1点目は感染症関係につきまして、コロナウイルスによる感染は非常に少なくなってきましたが、インフルエンザによる感染は拡大しており、学級閉鎖や学年閉鎖も発生している状況です。

2点目は行事の実施につきまして、小学校では修学旅行が実施され、中学校では校内合唱祭が実施されました。保護者を入れての開催は4年振りとなっており、教職員においても行事の準備の大変さと同時に子どもたちの普段とは違う成長した姿を見られる有意義な機会になったと感じました。

3点目は新人大会兼県民スポーツ大会の結果を受けて実施された県大会の結果につきまして、陸上で良い結果を残した生徒を紹介させていただきます。

男子棒高跳びで八幡中学校の生徒が3位に入賞、女子100mで八潮中学校の2名の生徒が5位と6位に入賞、女子100m×4リレーで八潮中学校が6位に入賞しました。八潮中学校で入賞した2名はまだ1年生なので、今後の活躍も楽しみにしております。

4点目は市内中学校駅伝大会について、中川フラワーパークの土手を会場として実施いたしました。結果は、男子の1位が大原中学校、女子の1位が潮止中

学校で、この2校は11月4日（土）に熊谷市で開催される埼玉県中学校駅伝大会に出場する予定となっております。

5点目は寄附について、シバ工芸様より、全児童に対してクリスマスプレゼントとしてこまちゃんのぬいぐるみを配布したいとのご相談をいただき、お受け取りさせていただくことになりました。今後は、小学校のみではなく中学校の生徒に対しても毎年何か還元していきたいとお話もいただきました。

●柳町教育総務課長

（1）八潮市学校適正配置指針・計画の見直しについて

見直しの趣旨につきましては、「八潮市学校適正配置指針・計画」は、令和2年度から令和31年度までの30年間を計画期間とし、令和2年3月に策定しており、概ね5年ごとに必要に応じて計画の見直しを行うことができるとされております。本計画は、策定から約4年が経過しておりますが、その間、社会情勢や教育をとりまく環境に大きな変化が生じていることや、様々な課題があることから、改めて将来の児童数推計を行い、児童数の変動要因を調査分析し、その結果に基づいて学校規模の適正化等について検討する必要があります。

課題につきましては5点ございまして、1点目が令和3年度から児童生徒数が減少しており、当初計画における児童数推計と住民基本台帳における児童数推計とで、大きな乖離が生じていること。2点目が北部地域の開発が予定されていることから、周辺の小中学校の児童数の推移について調査分析する必要があります。3点目が八潮南部東一体型特定土地区画整理事業地内における新設中学校予定地があるが、新設中学校の整備の必要性について検討する必要があります。4点目が大原小学校は、現在、普通教室に余裕がない状況であることから、改めて児童数推計を行い、今後の対応方針を検討する必要があります。5点目が近年の児童数減少に伴い、将来、基幹となる学校や統廃合及び、それに伴う通学手段の検討が必要であること。

見直しのポイントとしては主に3点上げており、1点目が現状と課題の整理、2点目が適正規模・適正配置の基本的な考え方、3点目が適正配置の方向性としております。

今後、体制やスケジュールが決まり次第、改めてご報告させていただきます。

●小林社会教育課長

(1) 令和5年度青少年の主張大会のプログラムについて

皆様のお手元に大原中2年生の生徒のイラスト制作による「令和5年度青少年の主張大会のプログラム」の写しをお配り致しております。11月11日土曜日午後1時から八潮メセナホールにおいて開催を致しますが、この度その各校の発表者がプログラムに記載のとおり決まりましたのでご報告を致すところでございます。なお、小中学校につきましては各校から1名ずつ、小学生については3分間、中学生については5分間のスピーチにより日常生活を通じて日ごろ考えていることを発表していただきます。本大会の開催にあたり、委員の皆様におかれましては、お時間が許すようでありましたら是非とも発表を聞いていただければ幸いに存じます。

(2) 埼玉県PTA連合会「三行詩コンクール」結果について

この三行詩コンクールは、楽しい子育て全国キャンペーン「家庭で話そう、我が家のルール・家庭のきずな・命の大切さ」をテーマとするもので、八潮市PTA連合会を通じ募集を行ったものでございます。そして、優秀作品の推薦を埼玉県PTA連合会にて行い、審査の結果、別紙にございますとおり一般の部において八幡小学校の児童が埼玉県PTA連合会会長賞を、中学校の部において八潮中学校の生徒が埼玉県図書教材協会会長賞を受賞いたしましたのでご報告を致します。

(3) 令和5年度埼玉県PTA広報紙コンクール審査結果について

こちらは、埼玉県PTA連合会主催によるPTA広報紙コンクールにおいて潮止小学校のPTA広報紙「伸びゆく子」が小学校の部の特別賞として埼玉県教

育委員会教育長賞を受賞されました。また、八幡小学校PTAの広報紙「やわた」が同じく小学校の部の銀賞をそれぞれ受賞されましたのでご報告いたします。

●高山文化財保護課長

(1) 第49回企画展「水のカタチ—統べる・活かす・うるおう—」実施結果について

8月11日より、資料館で開催いたしました第49回企画展「水のカタチ—統べる・うるおう・活かす—」では、河川に囲まれた低地上に位置する本市の地理的特徴や河川、用水などの「水」と深く関わってきた先人たちの生活について、水害や河川改修等の治水対策、用水開削を始めとする利水事業、水運がもたらす水の恩恵の3章立てで紹介しました。

会期中の観覧者数は1,701人、1日平均37.8人で行いました。

観覧された方からは、「八潮の河川の歴史文化がよくわかった」「人々の知恵と苦労がわかった」等の感想が寄せられ、地域理解を深めていただくことができたものと考えております。

(2) 体験講座「はんこづくり」の実施結果について

9月30日に開催しました体験講座では、小学生12名を含む21名の参加が行われました。

篆刻石を専用の彫刻刀で刻印する作業は、小学生にとっては難易度が高いかとも思われましたが、作業に没頭することもちの姿が印象的で、全ての参加者が時間内に「はんこ」を完成させていました。

参加者にとっては「はんこ」の歴史や変遷を学ぶとともに、自分だけのオリジナルはんこを作り上げる達成感も得ることで、有意義な時間となったのではないかと考えております。

(3) 体験講座「藍染め（型染め）」の実施結果について

藍染めをテーマにした本講座は、本市の地場産業である染色産業の伝統技術を広く市民に理解していただくため、毎年開催しているものでございます。

今回の講座では、江戸時代中期より始まる浴衣生地染色技法「長板中型」の技術を応用し、トートバックの藍染を行いました。

当日の参加者は21名で、八潮の染色史を学ぶとともに、自ら染め上げた藍染めトートバックを手にし、満足の様子でした。

今後も伝統工芸技術の保護継承のため、講座を継続してまいりたいと考えております。

●山内学務課長

(1) 学校給食について

「学校給食費の収納状況」についてご説明申し上げます。

本日お配りした「学務課資料」の「令和5年度学校給食費収納状況一覧表」をご覧いただきたいと存じます。資料の表面は、小学校の4月から9月までの「収納額・未納額・収納率」の一覧となっております。右下にございます収納率は「99.82%」でございます。また資料の裏面は、中学校の一覧となっており、収納率は「98.37%」となっております。このページの右下が、今年度9月までの、小中学校を合算した「まとめ」でございます。収納率は「99.49%」、未納額は「535,701円」、現在のところ収納状況につきましては、学校のご協力もあり、順調に進んでいるところでございます。

また、資料はございませんが、現在「八潮市学校給食ビジョン(案)」についてパブリックコメントを実施しております。期間は10月10日(火)から11月8日(水)までの30日間でございます。いただいた意見等につきましては、今後、当定例会におきまして適宜ご報告させていただきます。

(2) 学校教育審議会について

本年9月27日に第4回八潮市学校教育審議会が開催され、「本市の教育」について委員の間で意見交換がされたところでございます。この中で、新設小学校は潮止中学校のすぐ隣に設置されるということから「小中一貫教育の推進など、八潮の教育のモデル校となること」を期待する意見が多く出されました。

今後、学校教育審議会で新設小学校の校名を選定する際には、こういった視点も考慮していくことになるものと考えております。

また、会議の際には今後の進め方につきましても決定しておりまして、まずは11月10日（金）から12月11日（月）まで（32日間）、校名の募集を行いたいと考えております。対象は、市内在住・在勤の方、まず、これらの方は広報やお11月10日号と市のホームページでお知らせいたします。

そして、さらに新設小学校に一部の児童が通うことになる「大曾根小学校」と「大瀬小学校」の児童、教職員、保護者、そして、新設小学校に隣接する「潮止中学校」の生徒、教職員、保護者には個別にお知らせの文書などを発出するなど、特に応募を呼びかけてまいります。

その後、応募された「校名」を学校教育審議会で候補を絞り、さらにその次のステップで「大曾根小学校・大瀬小学校の児童」及び「潮止中学校の生徒」にその候補に対して投票していただき、その結果を踏まえて学校教育審議会では校名の候補を選定する運びとなっております。

なお、学校教育審議会では選定されました校名につきましては、教育委員会定例会におきまして議題として提案させていただき、さらに条例改正が必要になりますので、議会の承認をいただく予定でございます。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

（1）令和5年9・10月の事件・事故報告について

事件・事故報告は11件、内訳は、虐待疑いが2件、交通事故が1件、不審者・不審者関係の情報提供が2件、負傷、疾病による救急搬送が5件、家出が1件でございました。

今後、冬に向けて校内及び校外での交通事故の増加が心配されますので、校長会でも事故対応に関する資料を配付し、注意喚起を行いました。

引き続き、事故の未然防止、発生時の適切な対応について、校長会、教頭会でも話をしていきたいと考えております。

●松本学校 ICT 推進課長

(1) 八潮市 GIGA スクール通信 (第 40・41 号) について

GIGA スクール通信についてですが、第 40 号では、八潮市 G I G A スクール構想授業公開・研究協議会として、9 月 11 日に実施された大原中学校の数学科の加治原先生の授業公開と先生方の協議の様子について取り上げております。

当日は、加治原先生の公開授業の後、参観された先生方で「効果的な I C T の活用」というテーマで研究協議を行っており、協議の終了後に埼玉県教育委員会の I C T 教育推進課・保坂指導主事から、オンラインでの指導助言をいただいております。

資料にもありますとおり、授業支援ソフトである「スクールタクト」と Google のアプリケーションである「スプレッドシート」とを組み合わせた授業となっており、複数の I C T ツールを使用して生徒の理解を促す授業となった様子をご紹介します。

補足となりますが、資料中に「位置」と中央に表示された画面がございます。これは生徒が課題に対して書き込んだ内容を抽出し、コメントの多さを文字の大きさで表示する機能で、生徒間の意見の多さ、少なさを視覚的に把握することができるようになっております。

次に GIGA スクール通信第 41 号では、授業における I C T の効果的な活用方法について取り上げております。

授業支援ソフトの画面上でパーツを動かすことのできる機能を活用し、栄養素を分類する家庭科の授業の様子のほか、G I G A 端末がベースとなって隣同士で教えあう、ソフトのヒントを見て考える、先生に教えてもらうなど、1 つの教室において同時に複数の学習の進め方が生じている様子などをご紹介します。

G I G A 端末をはじめとする I C T の活用は、単なる学習の補助に留まらず、先生方の創意工夫によって、新たな授業形態の創出にもつながるものと認識しておりますので、今後も先生方の先進的な取り組みについて、適宜ご紹介してまいりたいと考えております。

(2) 令和5年10月より導入した新たな電子黒板について

各校の電子黒板については、これまでホワイトボードまたは黒板にプロジェクターで投影する形式のものを採用しており、直接投影画面に書き込むことができる、黒板を広く使うことができる、ホワイトボード単体で使用することができる等のメリットもある一方、視認性や発色性といった面では液晶ディスプレイ型に劣る面があり、また、最新の電子黒板には液晶ディスプレイ型が多数見られることから、今回機種選定を見直し、この10月より小学校5校、中学校2校の計7校に液晶ディスプレイ型の電子黒板を導入いたしました。

最新の電子黒板は機能も充実しており、G I G A端末と接続しなくても、電子黒板そのものにG I G A端末としての機能があることから、より進んだ使い方ができると先生方からも概ね好評をいただいております。

予算の範囲内にはなりますが、実際にご使用いただいた先生方のご意見を踏まえ、今後も先進的な機器の導入を着実に進めてまいりたいと考えております。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○高橋委員

新たな電子黒板が7校に導入されたということですが、残りの8校は来年度に導入されるのでしょうか。

●松本学校 ICT 推進課長

残りの8校につきましても、令和5年度中に少なくとも1台ずつ導入できるよう発注準備を進めているところでございます。

○高橋委員

この電子黒板の1台当たりの価格はどのくらいでしょうか。

●松本学校 ICT 推進課長

手元に資料が無いため正確な価格は回答できませんが、大体60万円くらいでございます。

○田口委員

今回この電子黒板に変えなければいけない特別な理由があったのでしょうか。

●松本学校 ICT 推進課長

特別な理由はございません。国の基準でも大型提示装置という記載しかございませんので、投影できれば問題はないと考えております。

しかし、展覧会などに行かせていただきますと液晶ディスプレイ型の方が明らかに発色性なども良いので、検証モデルとしての考えも併せて導入をさせていただきます。

○木下委員

新たな電子黒板について、これだけ機能が充実していると授業のみでしか使用しないのは勿体無いと思うのですが、日常的に先生方が情報を共有する場として活用することはできるのでしょうか。

●松本学校 ICT 推進課長

Z o o mのアプリがインストールされておりますので、電子黒板を使用して会議を行うこともできます。また、パワーポイントやワードも画面に投影することができます。

また、先生方が普段使用しているクロームブックと同じデータを直接見に行くこともできるので、こういった機能を活用して先生方が集まった場でプレゼンテーションをすることもできます。

○木下委員

先日、5・6年生くらいと思われる児童が自転車に乗っており、後ろも見ずに道路を横断していました。こういった行動は事故の増加にも繋がると思うので、高学年に対しても自転車のルールについて伝えていく必要があると思います。

学校内での負傷による救急搬送の内容について教えてください。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室

まず自転車等による飛び出しについてですが、10月に入り子どもの飛び出しについての問合せを数件いただいているところです。

該当の学校には都度連絡をしておりますが、校長会等でも引き続き話をしていきたいと思っております。

次に校内での救急搬送に関する詳細についてですが、2件ございまして、1件目は掃除の時間に足を滑らせて転倒し頭を打ってしまったもの。2件目は休み時間に校庭で遊んでいた児童同士が接触したものとなっております。

○井上教育長

タブレットのネットワークの利用について、利用制限をかけていない自治体があるという情報を聞きましたが、本市の制限はどのようになっているのでしょうか。

●松本学校 ICT 推進課長

本市はクラウド型のコンテンツフィルターという特殊なものを使用しており、学校からでも自宅からでもネットワークに繋がる際には必ずこのフィルターを通るようになっております。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。